

九月・十二月議会にて町政を質す！

六月議会に続き、九月議会・十二月議会において、**小亀しげき**は、町長・執行部に対し、果敢に一般質問を行い、町政運営を問い質しました。

九月、十二月と、定例会本会議にて一般質問に立った**小亀しげき**。質問の要旨を次の通りご紹介します。

九月議会では教育振興計画の策定について訊ねました。

新しい教育基本法には、地方はそれぞれの地域の実情に応じて実際の教育の実施などを担う、と教育行政における地方の役割が明文化されており、地方公共団体も教育振興のため総合的・体系的な計画を策定し、地域住民に示すことが求められています。**当町においては、何に重きを置き、どのようなスケジュールで教育振興計画を策定するのか、**教育長の考えを質しました。



(教育長答弁：策定に向



け、学校教育や社会教育の現状分析を行い、町としての教育目標を設定し、基本的に平成20年度中の策定を考えている。

十二月議会ではリーダーシップと組織力の強化という観点にて、平成21年度の町政運営について、町長へ質問を行いました。首長発言の威信回復・行政府総体としての組織力の向上こそ次年度を臨むにあたっての最重要ポイントと捉え、提言とともに執行部の姿勢を質しました。

(町長答弁：時に厳しい決定をしなければならぬ場合もあるが、いかなる状況下でも自治体の経営責任は首長にあると深く受け止めている。説明責任を果し、町民の目線に立つて行動する職員、公平・公正で町民に信頼される職員を望まれる職員像とし、町民との協働の町づくりを推進していきたい。)



小亀しげき、両議会とも時間一杯、熱のこもった弁舌を繰り広げました。



『三人寄れば文殊の知恵』という諺があります。「愚かな者でも三人集まって相談すれば文殊菩薩のような良い知恵が出る」という直截的な意味に加え、「独善から人々を守り、見方を深め、摩擦を防ぎ、より良きものを産み出す叡智の源は、寄り集まり話し合うこと」ともいうようにも解釈できるようです。

議会での議事の最後は採決となるわけですが、現況下、その多くは「可決」か「否決」、ふたつにひとつの選択となつてしまっています。私、その度「本当にそれでよいのか?」いつも悩んでいます。納得出来ぬなら反対すればよい、賛成者が多ければ通るし反対者が勝れば止まる。確かにその通りであり、それが多数決の原則なのでしょう。しかし「合議の価値」即ち様々な考えを持つ者が話し合う意義とはいったい何なのか、改めて考えるべきだと思ふのです。個々では辿り着けないより良き解決策を導き出すこと、まさしく「文殊の知恵」に尽きるのではないのでしょうか。議会では云うなれば「議案修正」が相当するのでしょうか。ゼロか100%ではなく、よい部分を残し、改善し、内容を高める。それこそ望まれる議事の在り方だと思ふのです。(小亀重喜記)

この後援会だよりについての感想や**小亀しげき**へのご意見・ご要望をお聞かせ下さい。下の葉書を切り取ってお使い下さい。(切手は不要です)

切り取り線

●アンケート(率直なご意見をお聞かせ下さい)

Q1. 後援会だより「WILL」をご覧になった感想をお聞かせ下さい。

- A1. () 良い。ぜひ続けて発行すべき。
() 普通。しばらく様子を見てみたい。
() 良くない。発行しなくてよい。

Q2. **小亀しげき**は、皆様のご期待通りに活動していると思いますか。

- A2. () 期待通り。頑張っている。
() 普通。さらに奮起が必要。
() 期待外れ。()

※小亀しげき への 要望、応援メッセージ等、お書き添え下さい。



左の模様(マーク)はkamechanのブログのQRコードです。読取機能のあるカメラ付携帯電話からもアクセスできます。

年間三〇万PVを越す訪問・閲覧に感謝。HPで情報発信中!

お蔭様で四年目に突入した「Kamechanのブログ」：インターネット上で**小亀しげき**が続けております。ブログ(簡易日記)形式のホームページは、まんのう町内外で多くの訪問者・閲覧者を得て、ますます好評を博しております。

本会議の議事や所属している総務常任委員会の審議内容の速報はもちろん所管以外の常任委員会・特別委員会も傍聴し、毎回詳しい

議会関連記事の発信により開かれた議会の実現にも大きく貢献しています。また併せて、家族・趣味に関わる話題等、日々の出来事や思いも自然体で綴られおり、等身大の**小亀しげき**を知って頂く恰好の媒体として定着して参りました。

インターネットをお使いの皆様さん、ぜひ「Kamechanのブログ」にお立ち寄り下さい。そのHP(ブログ)に寄せられた**小亀しげき**への「励ましのコメント」やメールの一部をご紹介させて頂きます。

(地方議会の在り方に関する記事に対するコメント：)

首長も議員も住民が選んだという事実は重いことです。住民は選べばそれで責任は果たしたものではありません。その後も監視して、住民のためにならなければ、敢然と立ち上がらなければなりません。ペンを持ち、議論して。それでも敵わなければ行

行動で！首長や議員が変われば職員も変わります。あきらめないで、がんばりましょう。(十二月議会での議員定数削減案否決の記事をご覧になって：)

社会や世の中がすっかり変つているのに、役場の建物の中(特に4階)だけ取り残されているのではないのでしょうか?町に出て、しっかりと周りを見て下さい。

皆さん、温かく、時に厳しいコメント、有難うございます。心より御礼申し上げます。今後も情報を発信し続けていきますので宜しくお願いします。(小亀 拜)

小亀しげきが綴るホームページ “kamechanのブログ” ぜひお立ち寄り下さい!

<http://ameblo.jp/blog-kamechan/>